

2021.2月

銀の汗 Again

A面

Go To UN 浮島処理センター10,000m²UN施工



常に風向き強さをチェック



下地ゴムシート撤去



QV-KK50T工法



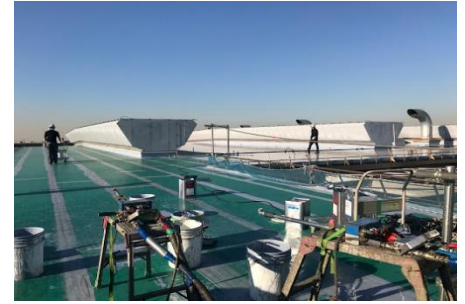
冬寒空の雲



材料は2トングート車で都度運び込み現場
初回材料EZを10セット搬入



UN2台体制もあり

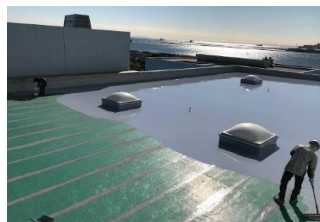


2台の先端操作機

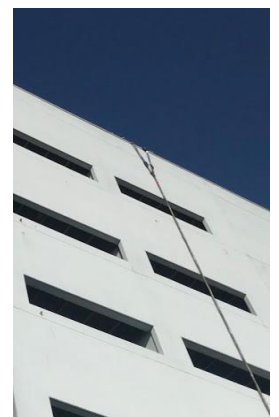
ドラム缶がトータル約200ドラム使用の1万m²の現場(浮島処理センター)のUN施工がありました。工期は2月迄、12月7日初回施工開始し、12月末にはUN2台体制で、ドンドン施工していきました。稼働3日で4,500m²を終えて2020年は終了し、開けて2021年の後半戦が始まり、残り5,500m²計6回の圧送が始まりました。サラセヌEZの総流量は540^{kg}・ドラム×66セット=35,640^{kg}で通常の汎用缶に換算すると1,485缶となります。幾度となく現場で「高層階までの汎用缶上げ下げを想像すると恐ろしくなった～UNで助かったよ」の声を頂きます。そんな現場の若い防水精鋭部隊の安堵する笑顔を頂戴するのが、オペレーターのエナジーとなっています。浮島現場は、容赦ない海岸からの強風・高層階まで足りないウインチワイヤー・距離のあるドラム保管場所等数々のタフな問題がありました、それらを現場一隊となり一つ一つ解決しながらゴールに挑みました。各関係者の安心できるバックアップ体制のもと、現場では職人(GSC様)・営業(JCサブライ様)・UNオペレーターがお互いの立場を考慮し最後まで膝を付け合わせました。無線でガン先部隊に吐出スピードや流量の確認交信、時にはレーキ・コテで仕上がりイメージしながら屋上の職長へ携帯確認。そんなオペレーターも攪拌機で飛び散った硬化剤で地面を汚さない様に、顔で受け止めながら施工を進めました。頭上僅かに見えるウインチからホースが地上に降りるまでは、OPの眉間のしわは緩みませんが、ホースを降ろし終え無線機を持った職人さんが帰還して、ようやく達成感を共有できました。この度、初めてUNマシンをご利用頂いた(株)GSC様におかれましては、数々のご配慮賜りありがとうございました。



(株)GSCの皆さん、日頃はスプレーが多く、初めてのUNIに大満足！
これからUNとスプレーの2本でガッチリ！



綺麗な仕上がり



頭上はらかなホース先

2021.2月

銀の汗 Again

B面

新春初施工、電力中央研究所低層階



電力中央研究所



(有)勝興業の皆さん

推進部:更なる免疫力UPの施策

- ①睡眠・・・爆睡しています
- ②栄養・・・バカ食いしています
- ③風呂で体温める・・・超サウナ好き

2021年新春初施工は横須賀の電力中央研究所雷を人工的に発生させ、その電気がどのように構造物に影響するかを実験する施設です。その為中がほぼ空洞で、屋上に上がるには600mm×600mmの小さなハッチのみ、そこからの材料搬入は難しくUNマシンを採用いただく事で作業が劇的に軽減し

1月低層階500㎡を9時30分施工開始12時には施工完了となりました。

新春の施工を終えたOPは、代々木上原の「大黒湯」びりびり電気風呂で作業の疲れを癒し、その後バカ食い、爆睡し、翌朝寝ぐせ髪を逆立てイナズマの様に現場打合せに向かいました。ファイヤー

包み隠さず・・・高圧ホース膨れ発生



高圧ホース膨れ発生



マシエルボ側詰まり無



横に切開針金挿入詰まり無



縦切開3重層高圧ホース経年劣化



現在ホース交換済施工順調

2020年12月、前日の雨拭き取りを終え12時前にUN施工を開始しようとした矢先高圧ホースが、どんどん膨らんできました。このままでは破裂しますので、一旦止めて、翌日他のマシンでのUN施工となりました。初の高圧ホースの膨張を経験したOPは、さっそくその原因を探るべくデポに戻り、まずはマシン側に詰まり等無いかエルボ一部等の確認を行いました。施工前のメンテでは異常なく、やはりエルボ一部等にも詰まりはありません。今度は、膨張部を横に切開して、針金を通しましたが詰まり等の痕跡は見当たらず最後に縦切開を行ったところ、**膨張部に経年劣化により割れを発見**。13年を超えるUN施工での振動またはホース収納時のねじれ等による内部劣化と判明致しました。今後の対策と致しまして**全てのUNマシンに予備の高圧ホースを設置致しました。**

UNマシン.COMサイトが起ちあがりました
ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)

銀の汗バックナンバーも掲載

UNマシンにて検索

【sweat of silver】

「応援したいから、応援に行かない」とコロナ禍で開催された箱根駅伝、TVでもこのコピーが頻繁に流れ、毎年大手町ゴール付近で応援していた私も、めんどくさくなって、この度はTVで応援していました。(せめて往路芦ノ湖で花火くらい上げろよ～と思いながら)結果は前年の85%沿道の応援する方々が減ったそうです、なんと規律性のある国民なのでしょう。

でもこのコピー誰が考えたんでしょうか? 「応援したいから、応援に行かない」コロナ禍でなければ、ただのへそ曲がりになります。「好きだから、イジめる」みたいに、小学生の少し屈折した変化球恋心のように感じます。

そして1/8再びの緊急事態宣言、医療崩壊、医療崩壊とマスコミは騒ぎますが? 日本は先進国OECDの中、人口1,000人あたりのベッド数は14床で1位だそうです、但しコロナ使用がわずかに3%と聞いています、単純にどうして? と思いますきっと様々な仕組みでこうなっているのでしょうか、もうコロナ1年近く対応しています。もう少し備え改善していく事が出来たんじゃないかと、19時まで外出し、腹が減り駅近20時を少し過ぎ、街中をラーメン屋さんを探し、結局諦めたワタシは家で、お茶漬けを食べながら思いました。俺の、塩ラーメン野菜増増しをどうしてくれるんだと・・・今度はトッピングにチャーシュー追加してやる! と決意しました・・・

「UNやりたいから、他社へ行かない」大人の恋心で、皆様からの申込お待ちいたします。Go To UN 継続中!